



駅まち空間の改善に向けた 社会実験のおしらせ

期間 **10月4日(金)～11月17日(日)**

社会実験期間終了後も当面の間、同様の配置で経過観察を行うことを予定しています。

場所 **小諸駅前広場**

※駅まち空間とは、駅・駅前広場・周辺市街地を一体的にとらえ、利便性・快適性・安全性・地域性の高いゆとりある空間を意味します。

小諸駅前広場の再整備に向けて、交通機能の再配置、柔軟な広場利用の効果検証のための社会実験を行います。

① 歩行滞留空間を拡大

賑わいづくりを目指し、停車場ガーデンにつながる歩行滞留空間を創出。座り場、キッチンカー等も配置

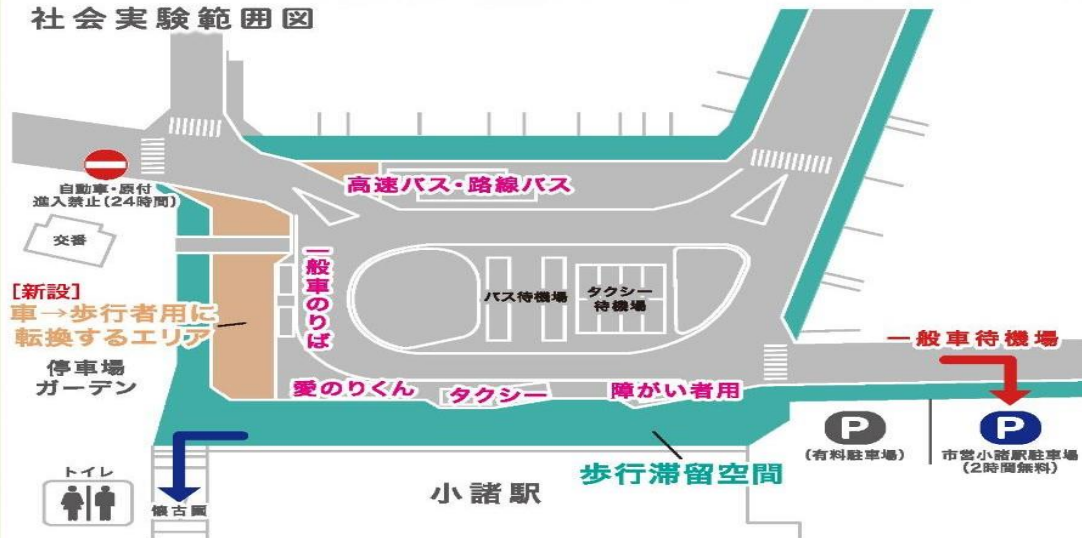
② 安全確保のための歩車分離

中央交通島から一般車待機場をなくし、車と歩行者の接触機会を減らす

③ 乗降位置の変更

待合空間の充実を図りながら、バスなどの乗降位置を変更

社会実験範囲図



車利用の皆様へ

社会実験中の駅前広場一般車のりばの台数には限りがあります。小諸駅から徒歩1分の場所に、市営小諸駅駐車場、市営大手門公園駐車場(2時間無料)があります。駐停車の際は、こちらをご利用くださいますようご協力をお願いいたします。

※社会実験期間中は、一般車及びバスの乗降位置や形状が社会実験前と異なりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

チャレンジビジョンの策定主体・計画期間・位置づけ

策定主体

策定は、小諸駅周辺地域でまちづくりの情報発信や公民共創による取り組みの推進・支援を行うこもろ・まちたねプロジェクト連絡会議が行います。当連絡会議は、小諸市、小諸商工会議所、こもろ観光局のほか、交通事業者やこの地域の環境づくりに主体的に参画する市外の関係機関・事業者で構成されています。

計画期間

概ね 10 年後の令和 17（2035）年度を目標年度とし、都市計画マスタープラン等の改定等に応じて、適宜更新していくこととします。

こもろ・まちたねプロジェクト連絡会議 構成員

地域機関会員

小諸市、小諸商工会議所、こもろ観光局、しなの鉄道(株)、ジェイアールバス関東(株)小諸支店、(株)まちづくり小諸、(株)八十二銀行小諸支店

支援機関会員

UR都市機構、UDC信州（長野県）、(株)カクイチ、(株)再生建築研究所、MONET Technologies (株)、(株)UR リンケージ

（令和 6 年 3 月時点）



位置づけ

チャレンジビジョンは、国や県の施策の方向性等を踏まえるとともに、市の計画・施策との連携を図りながら進めていきます。

小諸市総合計画第5次基本構想（平成 28 年 3 月）
平成 28 年度～令和 9 年度
住みたい 行きたい 帰ってきたい まち 小諸

小諸市都市計画マスタープラン
（平成 28 年 6 月 小諸市）
目標年次：2035 年度

小諸市立地適正化計画
（平成 29 年 3 月策定・平成 31 年 3 月改定）
目標年次：2035 年度

都市計画区域の整備、
開発及び保全の方針
【佐久圏域】
（令和 5 年 5 月 長野県）

小諸駅周辺地域に係る計画（小諸市）

小諸市景観計画
（平成 8 年）

小諸市地域公共交通網形成計画
（平成 29 年 2 月）

低炭素まちづくり計画
（平成 25 年 3 月）

脱炭素先行地域計画
（令和 5 年 2 月）

小諸駅周辺地域未来チャレンジビジョン
（令和 6 年 3 月策定、こもろ・まちたねプロジェクト連絡会議）

毎日楽しいおもてなし空間「小諸駅前広場」



小諸市HPより抜粋